



2026年2月期 第2四半期 決算説明資料

2025年10月14日

3080

IRメール配信登録

<https://www.magicalir.net/3080/mail/>



目次

- 01 会社概要
- 02 2026年2月期 第2四半期決算概要
- 03 当社の特徴と成長戦略
- 04 2026年2月期 業績予想・株主還元
- 05 サステナビリティ

01

会社概要

- 01 会社概要
- 02 2026年2月期 第2四半期決算概要
- 03 当社の特徴と成長戦略
- 04 2026年2月期 業績予想・株主還元
- 05 サステナビリティ



VISION ビジョン

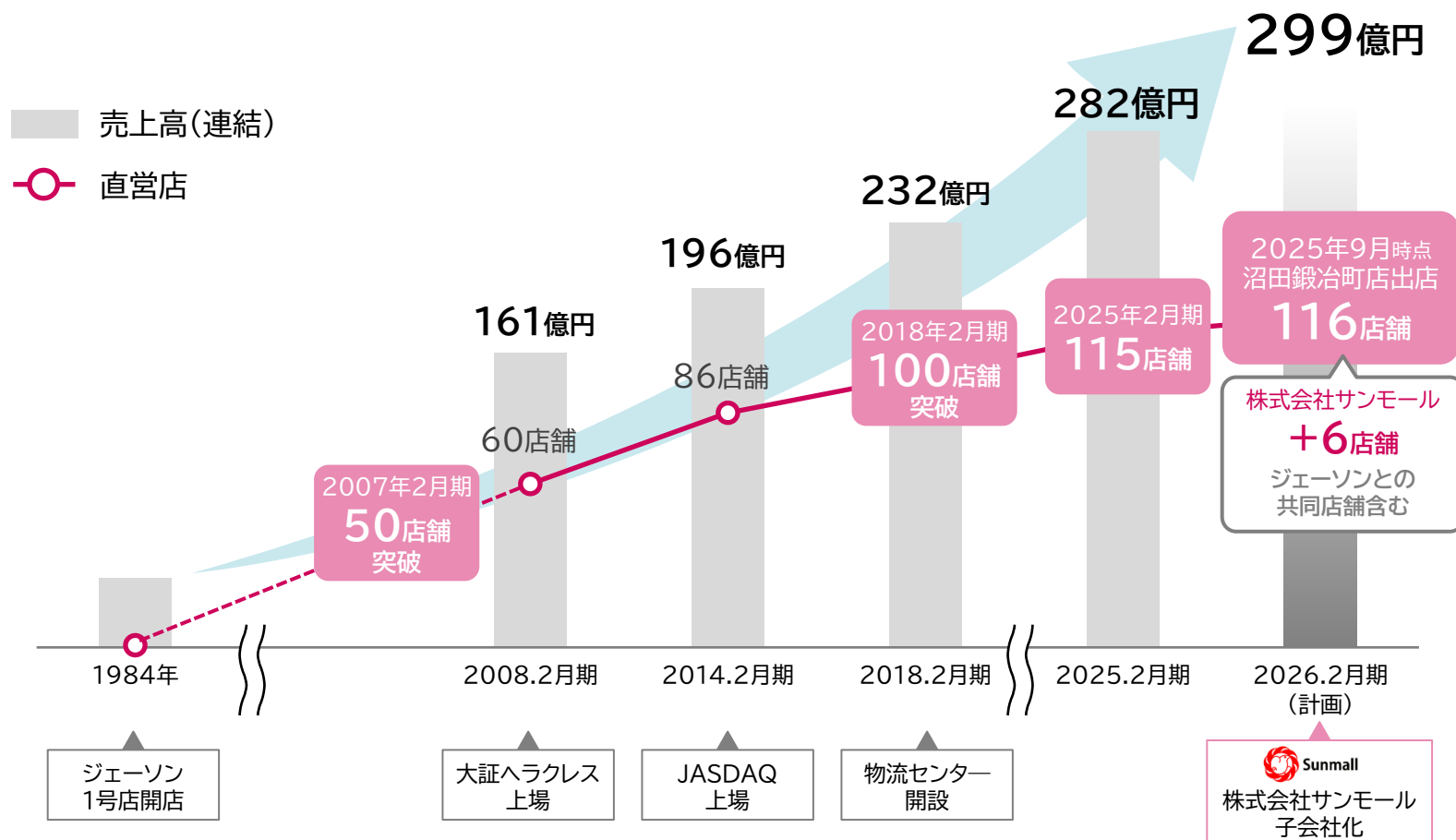
人々の生活を支えるインフラ(社会基盤)となる

ビジネスをサイエンスし、
未来へ進化し続けるロープライスストアを目指します。

会 社 名	株式会社ジェーソン
上 場 市 場	東京証券取引所 スタンダード 3080
事 業 概 要	ディスカウントストアとバラエティストア、食品スーパーの運営およびチェーン展開
設 立	1973年7月 (会社合併による存続会社の設立年月日。実質的な事業開始は1983年6月)
代 表 者	代表取締役社長兼会長 太田 万三彦
本 社	千葉県柏市大津ヶ丘2-8-5
資 本 金	3億2,030万円
決 算 日	2月末日

売上高300億円規模に持続的かつ着実に成長

- 居抜き物件を中心に、関東一円にバラエティストアをチェーン展開
- ITおよび物流内製化等によるローコスト経営を徹底し、順調に業容・店舗網を拡大
- 2025年3月、群馬県の実食スーパー「サンモール」を子会社化



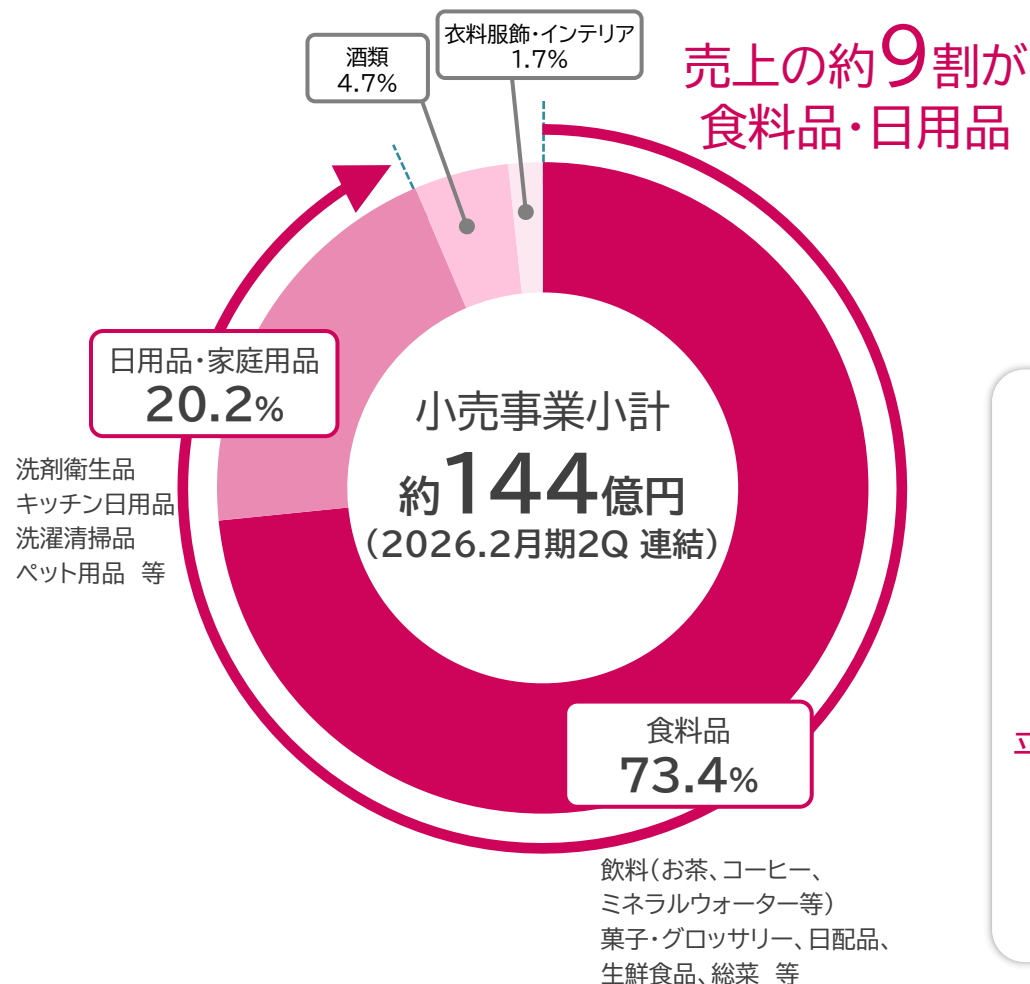
ジェーソン グループ

ジェーソングループは、株式会社ジェーソンと連結子会社3社で構成されています。



※:2025年5月31日を企業結合日として、株式会社サンモールの損益については、当第2四半期連結会計期間より連結損益計算書に反映しております。

お客様の生活に寄り添った品揃えで
地域密着型のバラエティストア※1・食品スーパーを運営



▲店内の陳列の様子

1日の来店者数 約52,000人強※2



生活必需品・日用品のバラエティストア、食品スーパーを首都圏、関東近郊の生活圏で運営

平均的な店舗面積



約210坪※2

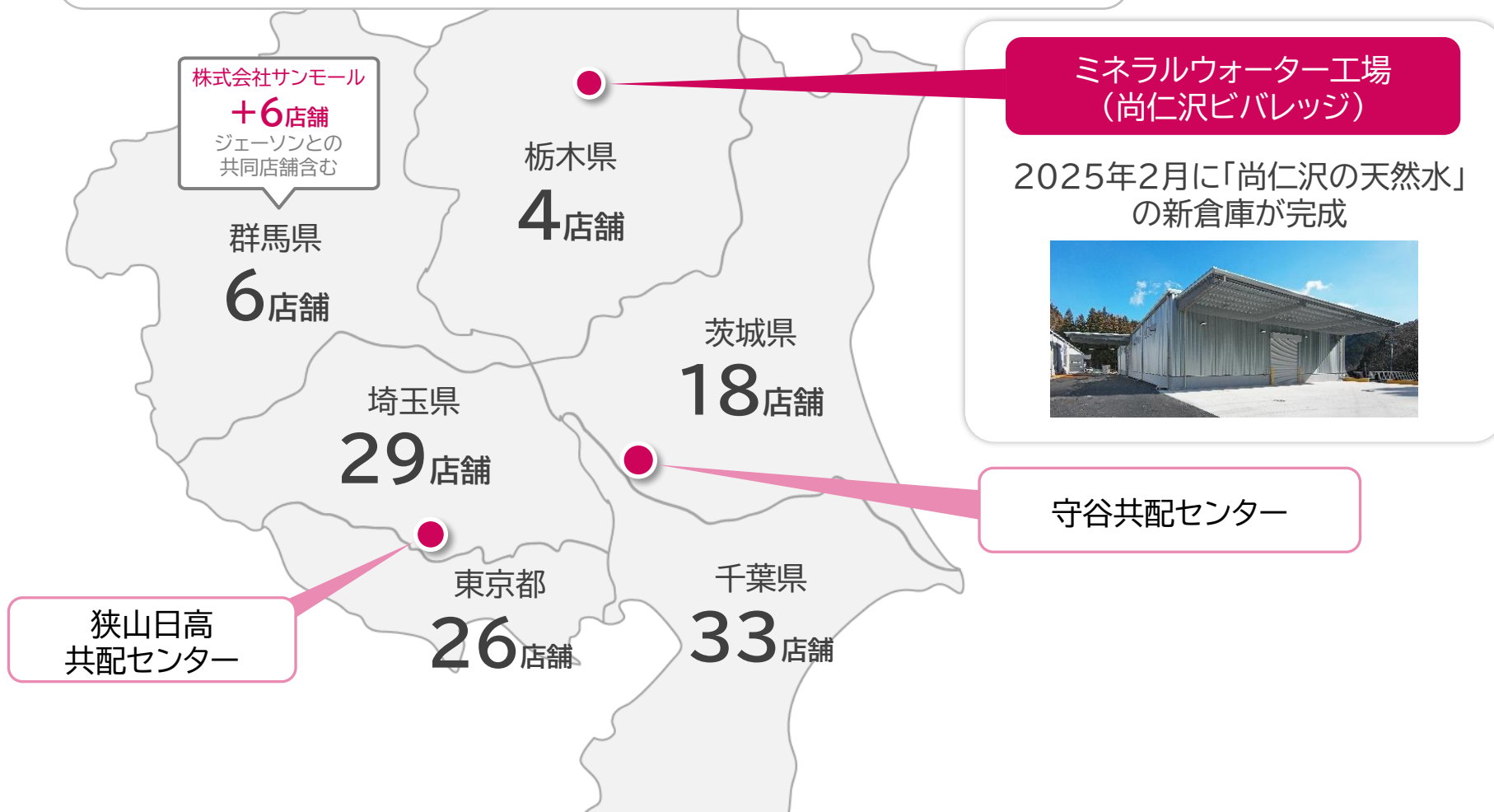
いつでも安く、より短い時間で、手軽に購入できる売り場づくりを心がけています。

※1:地域密着の生活必需品を安価に提供する、コンビニエンス性の高い店舗のこと。

※2:サンモール店舗、ジェーソン・サンモール共同店舗を含めた数値

物流センターをハブとして関東一円で店舗展開

店舗分布



※: 2025年9月30日時点の店舗数。ジェーソン・サンモールの共同店舗も含む。

2021年10月販売開始

しょうじんざわ
「尚仁沢の天然水」

2025年8月

累計販売本数 約5,300万本※



環境省が選定した全国名水百選に数えられる名水「尚仁沢湧水」のミネラルウォーター。天然の広葉樹(ブナ)の原生林に育まれた湧水は「天然弱アルカリ」成分で超軟水(硬度:23mg)であり、まろやかな味わい。

2024年5月販売開始

「はじける強炭酸水」
(天然水の炭酸水)

2025年8月

累計販売本数 930万本※を突破



すっきりさわやかで爽快な飲み心地の強炭酸水。なめらかな泡と、はじけるのど越し。
発売以来、好調な販売を維持。増産対応中。

※:7月末からサンモール各店で販売(一部店舗除く)

02

2026年2月期 第2四半期決算概要

- 01 会社概要
- 02 2026年2月期 第2四半期決算概要
- 03 当社の特徴と成長戦略
- 04 2026年2月期 業績予想・株主還元
- 05 サステナビリティ

仕入価格の高騰が続く中、JV商品の集荷が弱含みで推移したことに加え、M&A関連費用や車輛購入に伴う減価償却など前向きな投資に係る費用の増加、並びに、子会社サンモールの会計処理方法変更等によるマイナスも影響し、減収減益。

売上高

14,908百万円

前年同期比 ▲0.8%

15,033

14,908

2025.2月期2Q

2026.2月期2Q

営業利益

290百万円

前年同期比 ▲46.5%

542

290

2025.2月期2Q

2026.2月期2Q

経常利益

313百万円

前年同期比 ▲43.9%

559

313

2025.2月期2Q

2026.2月期2Q

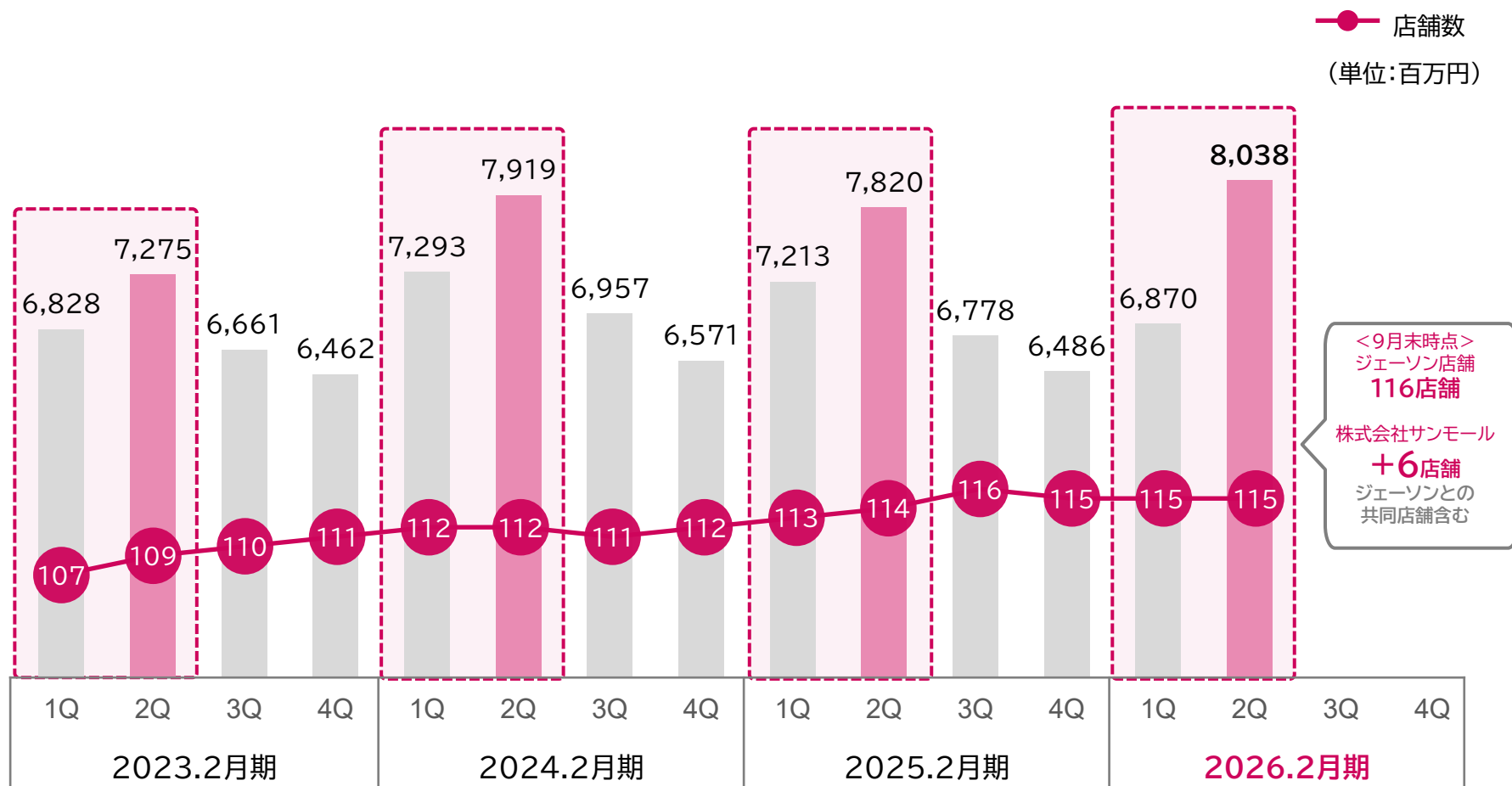
売上が伸び悩む中、M & A 関連費用・減価償却増加等が影響し減益。

売上要因：JV商品の集荷が弱含みで推移。
：尚仁沢の天然水などのジェーソンオリジナル商品は引き続き好調に推移。

利益要因：仕入価格や水道光熱費の高騰に加え、M&A関連費用や車輛購入に伴う減価償却費負担の増加、また、子会社サンモールの会計処理方法変更等が収益を圧迫。

(単位:百万円)	2025.2月期		2026.2月期						
	2Q		2Q					通期	
	実績	売上高 比率	実績	売上高 比率	前年 同期比	計画	達成率	計画	進捗率
売上高	15,033	—	14,908	—	99.2%	15,100	98.7%	29,900	49.9%
原価	11,096	73.8%	11,038	74.0%	99.5%	—	—	—	—
売上総利益	3,936	26.2%	3,870	26.0%	98.3%	—	—	—	—
販管費	3,394	22.6%	3,579	24.0%	105.5%	—	—	—	—
営業利益	542	3.6%	290	1.9%	53.5%	310	93.6%	410	70.8%
経常利益	559	3.7%	313	2.1%	56.1%	320	98.1%	440	71.4%
中間純利益	340	2.3%	182	1.2%	53.6%	170	107.3%	230	79.3%
EPS(円)	26.55	—	14.24	—	53.6%	13.27	—	17.95	—

第1四半期の売上高は弱含みで推移したものの、第2四半期においては子会社サンモールの買収効果もあり、前年同期比増収。なお、9月末時点では、ジェーソン・サンモールの共同店舗化によりジェーソン店舗数が1店舗増加し116店舗。



2026年2月期上期の月次売上は、JV商品の仕入れが振るわず、前年を下回る水準で推移。
本年8月は、前年の同月における売上増(地震等の影響による需要増)の反動減。

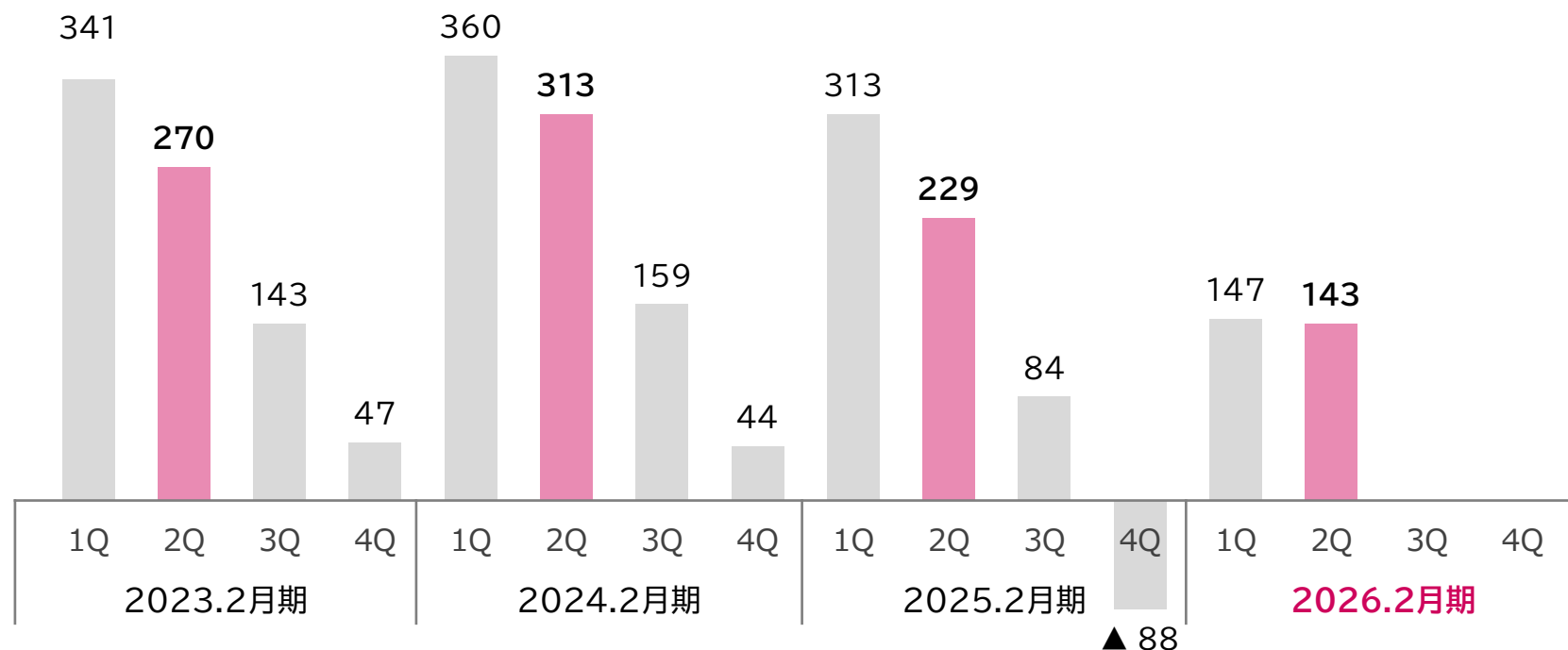


※全店:直営全店売上高合計の前年同月比

既存店:開店から13ヶ月目以上となる直営店売上高合計の前年同月比

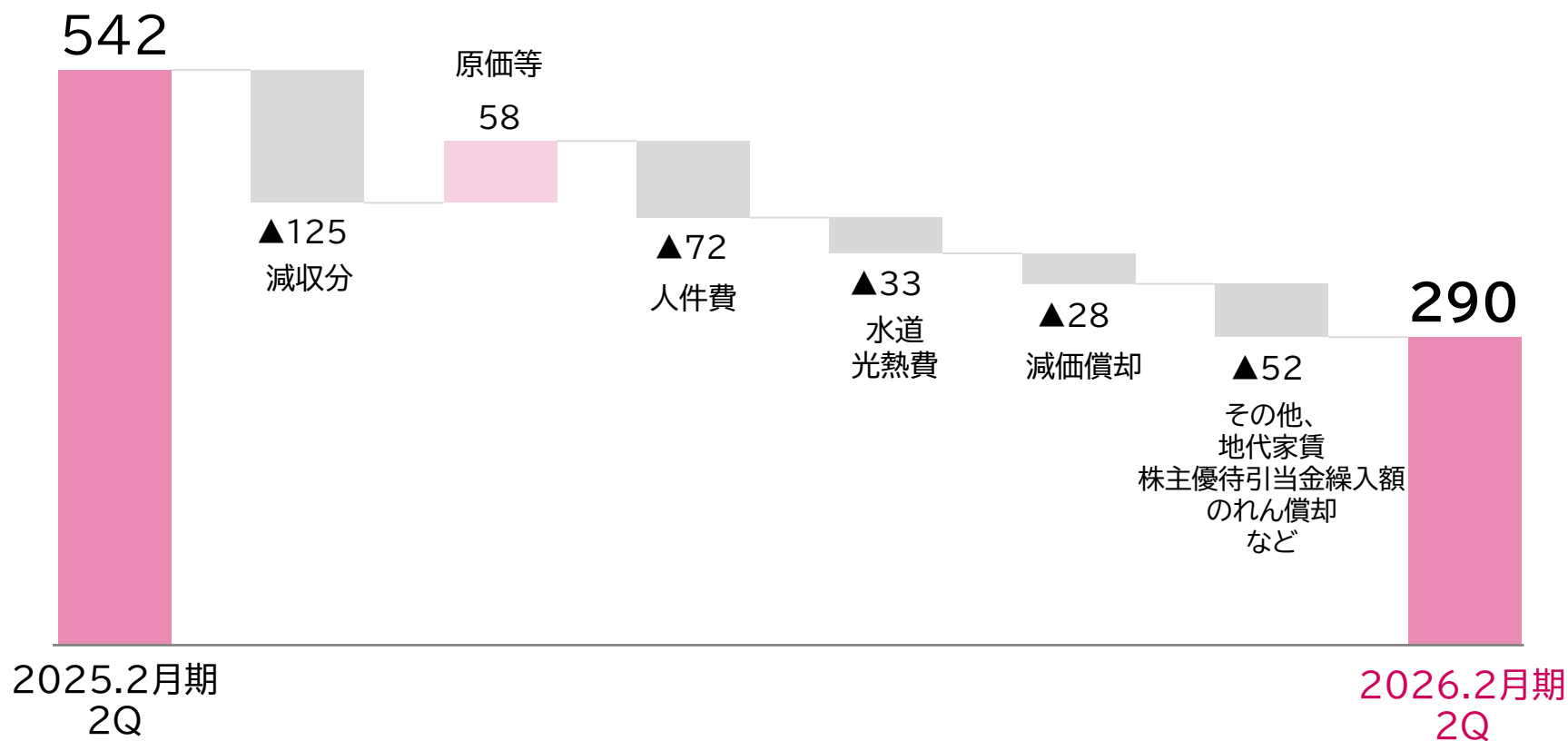
売上が伸び悩んだことに加え、仕入価格の高止まり、M&A関連費用や車輛購入など前向きな投資に係る費用の増加、また、子会社サンモールの会計処理変更の影響を受け、前年同期比減益。

(単位:百万円)



M&A関連費用や車輛購入に伴う減価償却費など前向きな投資に係る費用が増加。
サンモール子会社化に伴う人件費や水道光熱費等諸経費の増加も影響。

(単位:百万円)



ジェーソン初の試みとなる「ジェーソン」×「サンモール」の共同店舗※を2025年9月10日にオープン。地域内でジェーソンならではのロープライスを訴求し、好調なスタート。

※共同店舗(ハイブリッド)化…サンモール店舗内売り場の一部をジェーソン店舗化し、シナジー効果発揮を狙う施策。

2025年9月OPEN

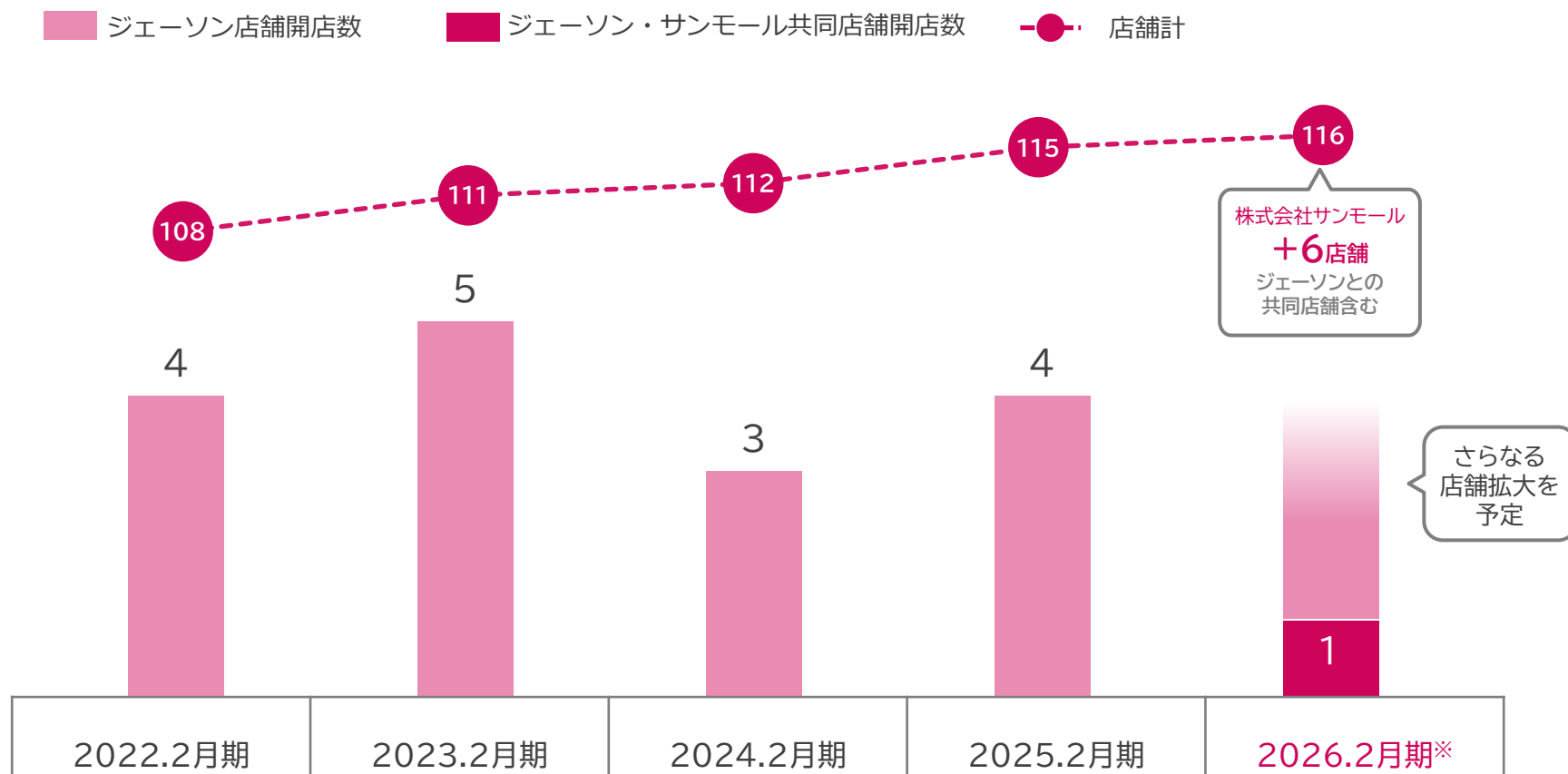
ジェーソン沼田鍛冶町店(群馬県)

群馬県沼田市鍛冶町 3968-4 アクセス 県道269号沿い



売場面積
222㎡

ジェーソンとサンモールの共同店舗化を推進し、当期は9月末時点で純増1店舗。



※:9月末時点

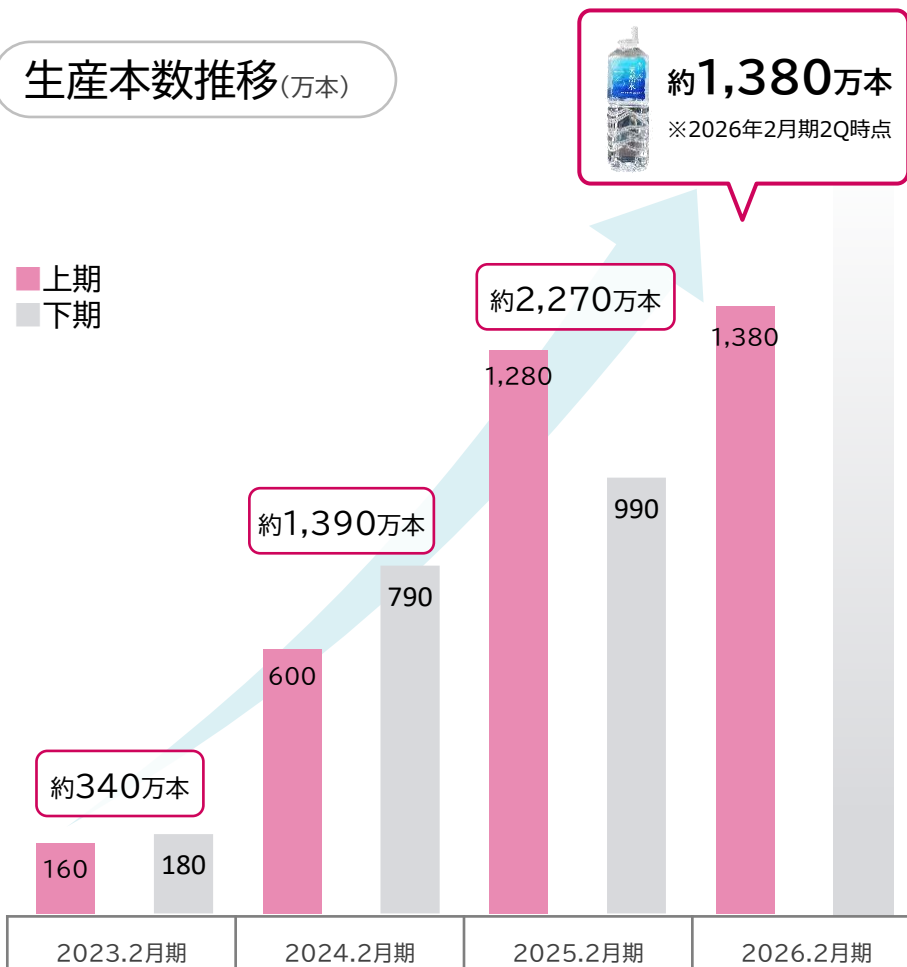
商品部門別では引き続き食料品の売上構成比が最大。サンモール子会社化に加え、ミネラルウォーター需要拡大に伴い、食料品比率は前年同期比3.2ポイント増加。

(単位:百万円)

商品部門名称	2026.2月期2Q	構成比	2025.2月期2Q 構成比
衣料服飾・インテリア	237	1.6%	2.1%
日用品・家庭用品	2,910	19.5%	22.4%
食料品	10,557	70.8%	67.6%
酒類	678	4.5%	4.2%
その他	517	3.5%	3.6%
小計	14,900	99.9%	99.9%
その他営業収入	8	0.1%	0.1%
合計	14,908	100.0%	100.0%

ジェーソンオリジナル商品「尚仁沢の天然水」の増産体制強化に向けた取り組みが奏功し、生産本数は順調に伸長。

生産本数推移(万本)



上期平均生産本数

前期 約210万本/月 → 約230万本/月

- 設備機器を更新・拡充
- 稼働時間延長
2024年2月～: 2交替制運用開始
- 生産体制増強、増産体制確立
→25年2月から新倉庫が稼働



※写真右側が新倉庫

子会社サンモールを新たに連結の範囲に含めた影響等により、前期末比で総資産が約12.2億円純増。

(単位:百万円)	2025.2月期	2025.2月期2Q	増減	主な内訳
流動資産	7,086	7,833	+747	現金及び預金、売掛金、商品及び製品など
固定資産	3,772	4,251	+478	
有形固定資産	2,291	2,588	+296	子会社の資産・設備更改など
無形固定資産	158	320	+161	のれん
投資その他の資産	1,322	1,342	+19	敷金及び保証金など
資産合計	10,859	12,084	+1,225	
負債合計	4,559	5,768	+1,209	
流動負債	3,445	4,526	+1,081	子会社買掛金、未払金など
固定負債	1,114	1,242	+128	リース債務、子会社長期借入金など
純資産合計	6,300	6,315	+15	利益余剰金
負債・純資産合計	10,859	12,084	+1,225	

子会社の株式取得や設備関係等の活発な投資活動を行うも、安定した営業収益により、問題のないキャッシュフローを維持。

(単位:百万円)	2025.2月期2Q	2026.2月期2Q	主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	869	958	営業収益など
投資活動による キャッシュ・フロー	▲211	▲449	子会社株式の取得、子会社 の設備等
財務活動による キャッシュ・フロー	▲276	▲317	長期借入金の返済、配当 金の支払いなど
現金及び現金同等物の 期末残高	4,308	3,988	
フリーキャッシュフロー	658	509	

03

当社の特徴と成長戦略

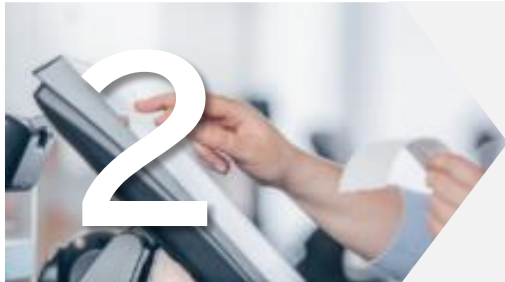
- 01 会社概要
- 02 2026年2月期 第2四半期決算概要
- 03 当社の特徴と成長戦略
- 04 2026年2月期 業績予想・株主還元
- 05 サステナビリティ



人々の生活を支えるインフラ(社会基盤)となること



地域密着型の経営で、お客様に
喜ばれる店舗づくりを目指します。



科学的、合理的な視点でビジネスを進めること



内製化された
業務システム

+

店舗
オペレーション

- 商品管理
- 商品仕入
- 物流体制



ビジネスをサイエンスし、未来へ進化し続けること



時代の潮流を読み、絶え間なく進化する
IT・デジタルテクノロジーとともに成長し続けます。

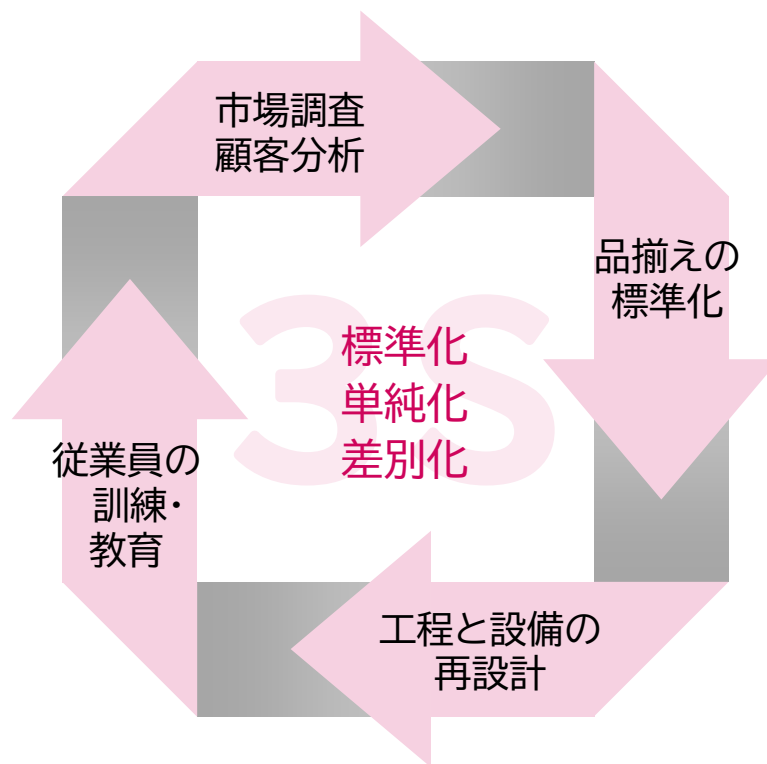
ジェーソンの発展を支えるデジタルテクノロジー・業務システム



「ムリ・ムラ・ムダ」を 省いたローコスト経営

科学的、合理的な視点でビジネスを進めることが、
ジェーソンが大切にしているマインド。

ベーシックなオペレーションシステムを愚直に実施し、改善を積み重ね、
ステークホルダーの皆様と企業利益の両立を目指します。

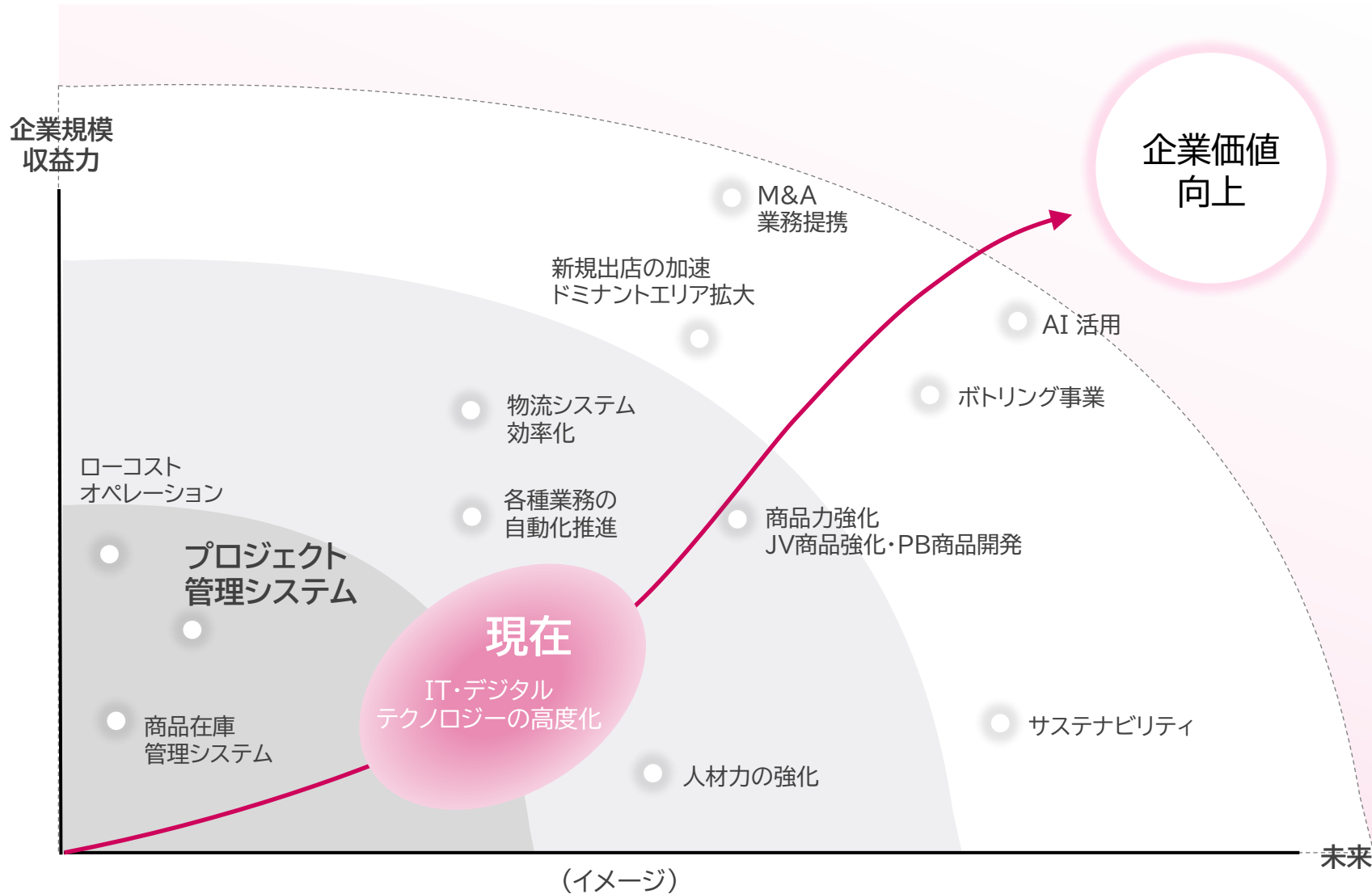


多店舗展開・M&Aによる
企業規模拡大
IT活用・内製化による
コストダウン

収益の
大幅な増加

ステークホルダー
(顧客・株主・従業員・取引先・社会)
と企業利益の両立を実現

社内IT・デジタルテクノロジーの高度化を主軸に、徹底したローコスト経営と各種経営戦略を展開し、企業価値向上を進めて参ります。



インフレの進行・仕入価格の高騰や人手不足が続くなか、引き続きローコスト経営を徹底しつつ、以下の重点施策により事業規模の拡大・収益増強を図ります。

取り組み 1

店舗のスクラップ&ビルドと収益改善

- 居抜き物件を中心としたローコスト出店の推進。
- 店舗数純増を維持しつつ、低収益店舗については退店を検討。
- サンモール店舗の収益管理の徹底と共同店舗（ハイブリッド）化推進。

取り組み 2

JV(ジェーソン・バリュー)商品・ジェーソンオリジナル商品の取扱拡大

- JV商品・ジェーソンオリジナル商品開発等により、ロープライスを堅持しつつ利益率の改善を図る。
- 商品構成・プライスゾーンの再構築と集荷統制による粗利益増加。
- 食品スーパーへの新規参入によるビジネスモデルの一層の進化とシナジー発揮。
- 尚仁沢ビバレッジのさらなる増産と生産設備の強化。

取り組み 3

効率的なマネジメント・組織体制づくり

- マネジメントシステムの活用、店舗オペレーションの省人化の更なる推進。
- トラック増車による物流体制の一層の拡充。
- サンモールの管理体制構築とガバナンスの強化。
- 戦略投資への取り組み。M&Aによる事業ポートフォリオの拡大。

04

2026年2月期 業績予想・株主還元

- 01 会社概要
- 02 2026年2月期 第2四半期決算概要
- 03 当社の特徴と成長戦略
- 04 2026年2月期 業績予想・株主還元**
- 05 サステナビリティ

サンモールとの共同店舗化や商品の相互補完など、収益改善・シナジー効果の早期実現を図るとともに、JV商品の仕入れ・販売を強化し、**売上高は299億円**を見込む。

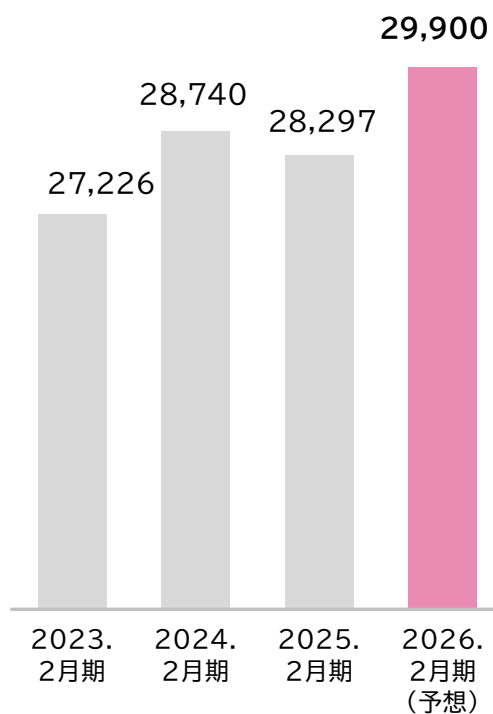
一方で、仕入価格の高騰や、競合他社との価格競争の激化などの影響に加え、子会社サンモールの会計処理変更等を考慮し、**営業利益は4.1億円**を計画。

(単位:百万円)	2025.2月期 実績	2026.2月期 予想	前期比 (額)	前期比 (率)
売上高	28,297	29,900	+1,602	105.7%
営業利益	538	410	▲128	76.1%
経常利益	573	440	▲133	76.7%
当期純利益	345	230	▲115	66.6%

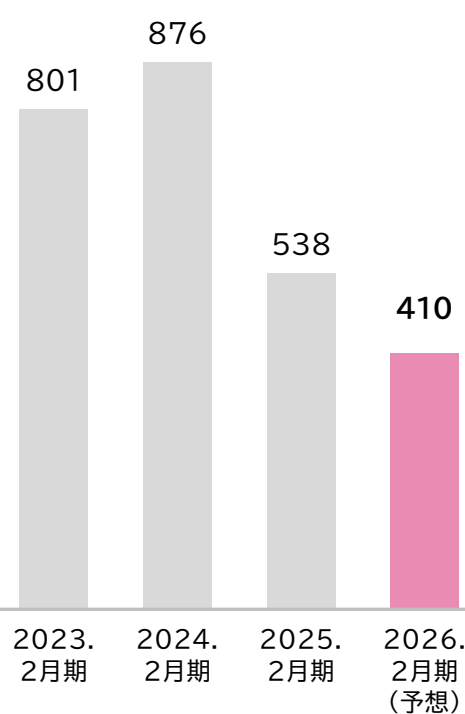
JV商品仕入れ強化・立て直しや、ジェーソンオリジナル商品の販売強化、および子会社サンモールの連結取り込み等により成長軌道への回帰を図る。

(単位:百万円)

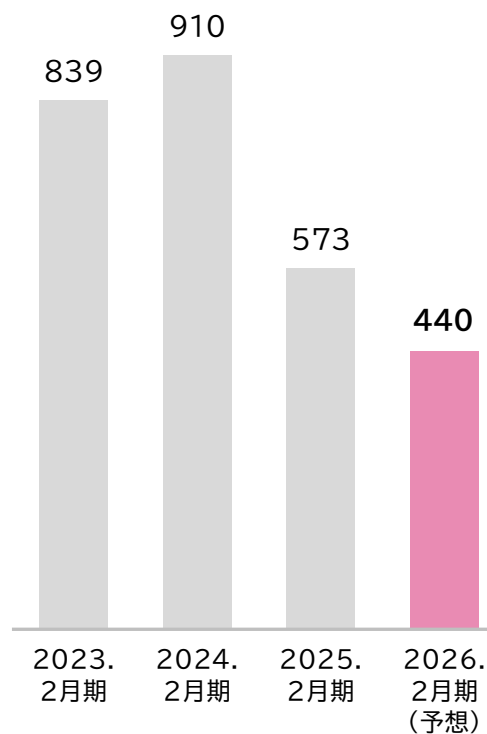
売上高推移



営業利益推移

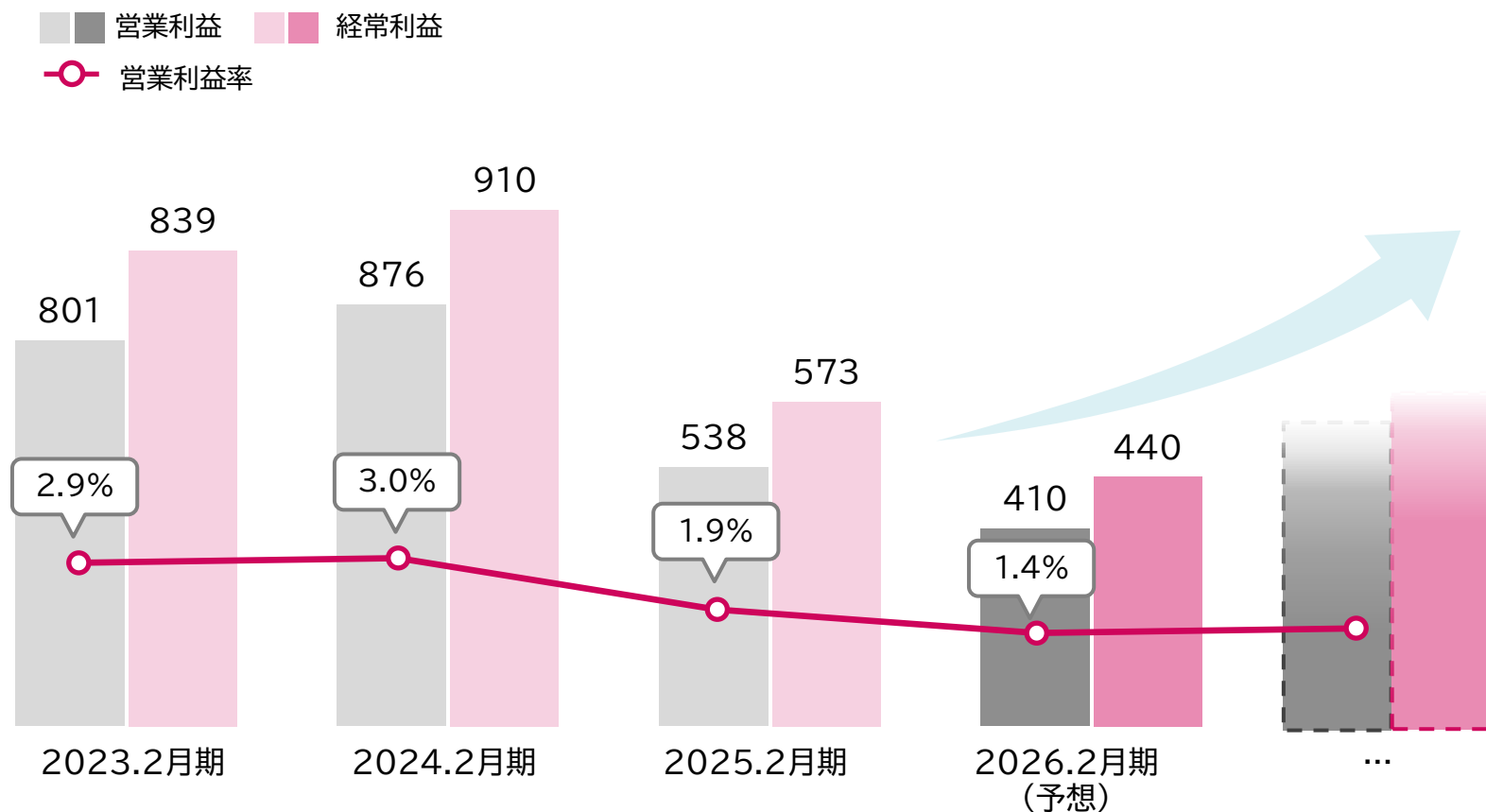


経常利益推移

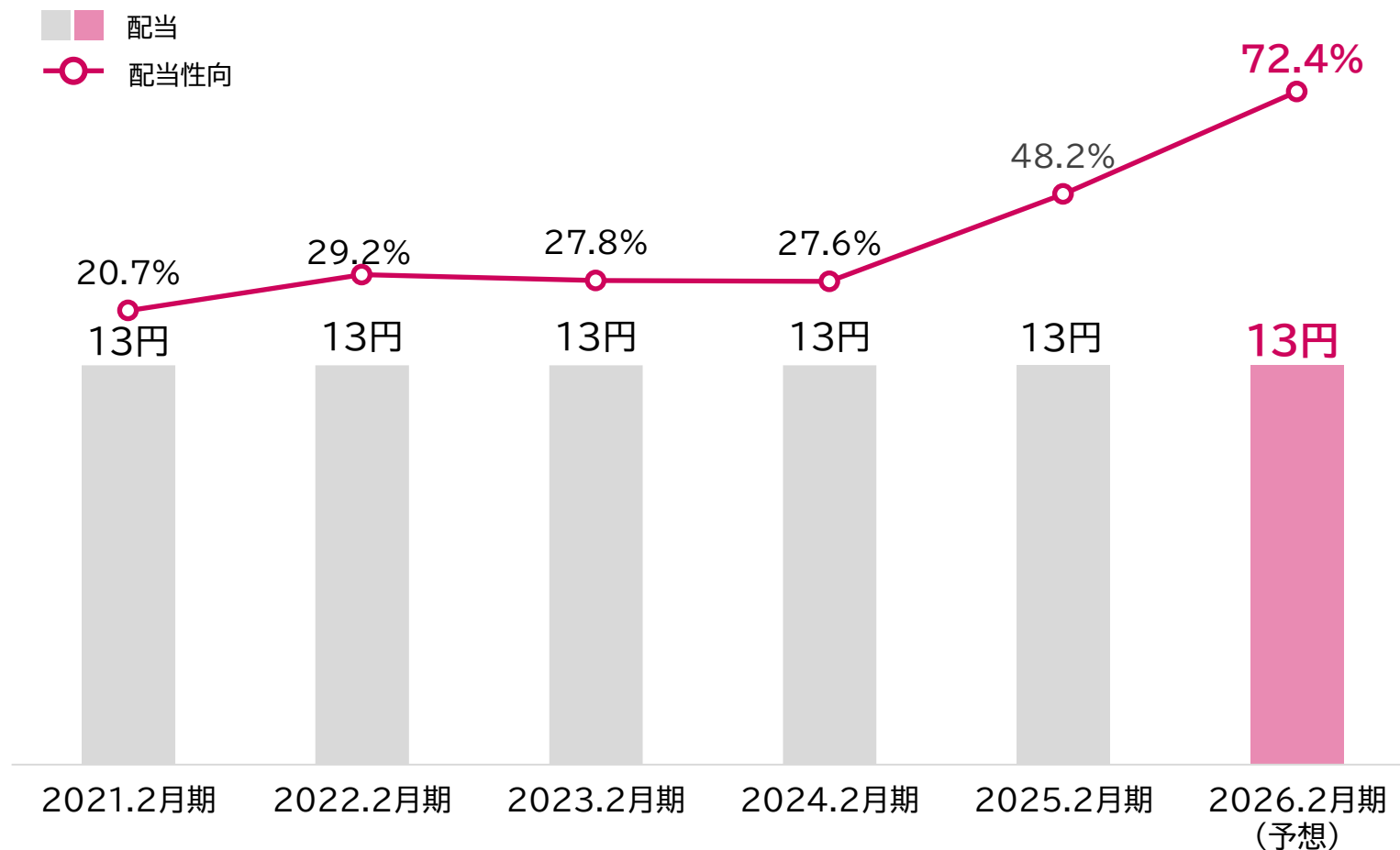


サンモールとの共同店舗化施策の推進やオリジナル商品の開発に努め、収益改善を目指す。

(単位:百万円)



厳しい収益環境であるものの、引き続き株主還元を重視し、前期と同額の1株当たり13円を予定。



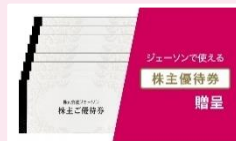
株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高めるため、2025年度は、下記内容にて株主優待制度を実施(済)。

保有期間 **1年未満**

保有期間 **1年以上※**

いずれか一つを選択

500株～
999株



or



優待券×**10**枚
(10,000円分)

天然水×**5**箱

いずれか一つを選択



or



優待券×**11**枚
(11,000円分)

天然水×**6**箱

いずれか一つを選択

1,000株
以上



or



or



優待券×**20**枚
(20,000円分)

天然水×**10**箱

天然水×**6**箱
炭酸水×**4**箱

いずれか一つを選択



or



or



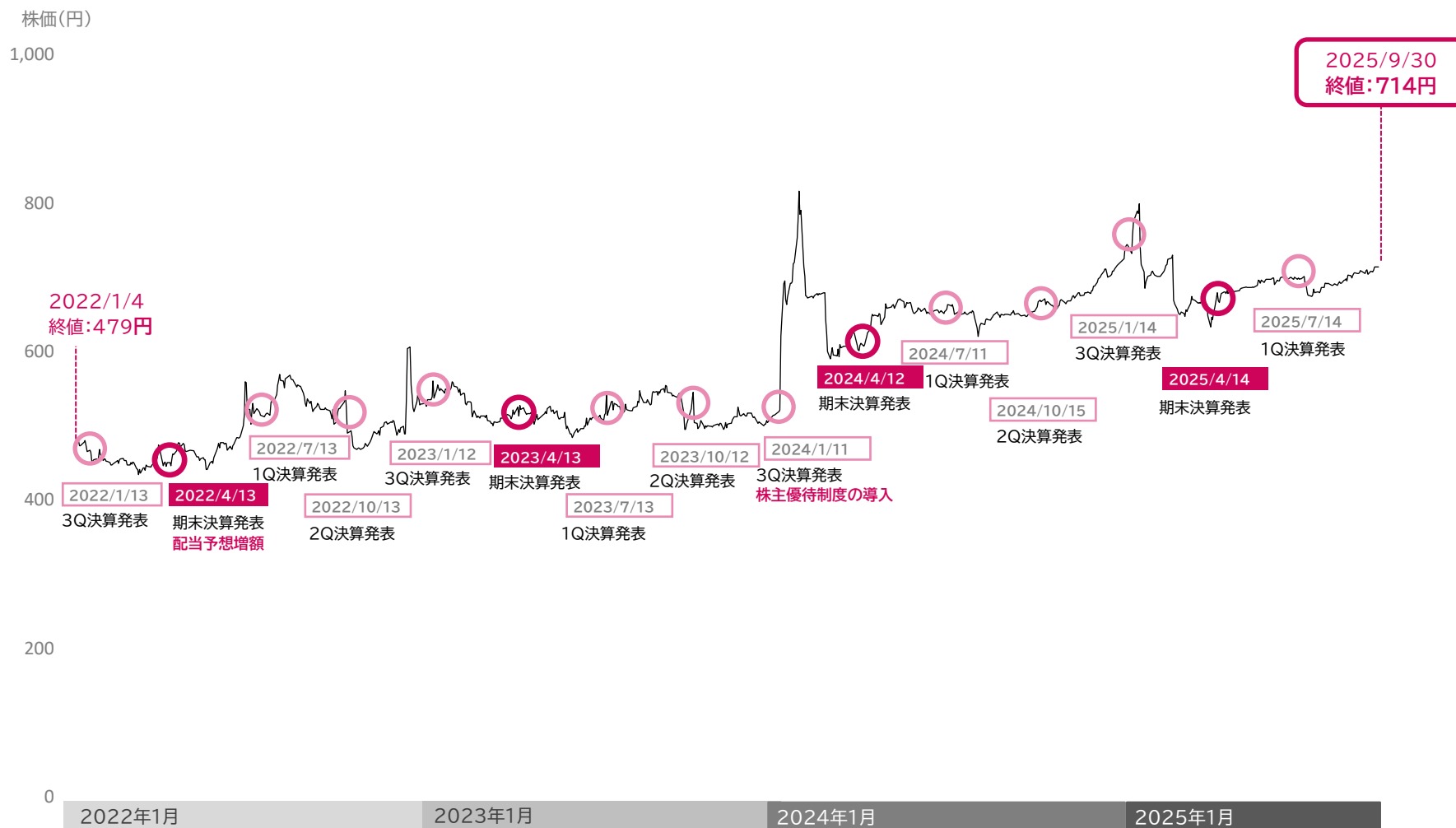
優待券×**22**枚
(22,000円分)

天然水×**12**箱

天然水×**8**箱
炭酸水×**4**箱

※:保有期間1年以上の株主様が対象。保有期間1年以上の株主様とは、同一株主番号で、2月末日および8月末日の当社株主名簿に、連続で3回以上記載または記録された株主様と定めさせていただきます。

株価推移(2022/1/4~2025/9/30)



05

サステナビリティ

- 01 会社概要
- 02 2026年2月期 第2四半期決算概要
- 03 当社の特徴と成長戦略
- 04 2026年2月期 業績予想・株主還元
- 05 サステナビリティ

SDGs17の目標のうち、特に以下の7つに注力しております。



Environment(環境)

食品ロス削減

メーカー・商社等の商品政策の変更による返品商品や、賞味期限間近の商品を市中販売することで貢献しています。



省エネルギー

- ・ LED照明の導入による消費電力削減
- ・ 店舗・本社の冷暖房温度適正化による省エネルギー対策
- ・ 自社物流の配送効率改善によるCO2削減
- ・ 会議資料のペーパーレス化



安全で安価な飲料水確保

100%子会社において良質なミネラルウォーターを徹底した衛生管理・コスト管理のうえ製造しています。



Social(社会)

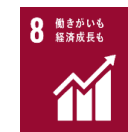
社会貢献活動

日本赤十字社への活動資金協力 ・児童養護施設への支援



多様な働き方の推奨

- ・ 育児休業制度を採り入れ、対象者は全員が取得しています。
- ・ 育児短時間勤務、在宅勤務など柔軟な就業
- ・ 外国人雇用・障がい者雇用の実施



Governance(ガバナンス)

コーポレートガバナンス

持続的な成長のための経営の効率化を図り、健全で透明な経営体制を構築するため、コーポレート・ガバナンスを充実させております。



コンプライアンスの徹底・リスクマネジメント

企業価値及び信頼性の向上を目的として、事業活動に伴う各種リスクに適切に対応するための「リスク管理委員会」を設置し、社内を横断的に統括しております。



情報セキュリティ体制

- ・ 端末に情報を残さないよう独自のシステム上で業務を行う
- ・ 社内Wi-Fiを通じて限られた範囲内で情報を取り扱う
- ・ ウイルス対策に注力し情報セキュリティを強化



当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ジェーソン
〒277-0921 千葉県柏市大津ヶ丘2-8-5
TEL :04-7193-0911
<https://jason.co.jp/ir/>